



令和 3 年度 10 月人権一口講座



「SNSと上手に付き合おうね」

コロナ禍により、一年延期で開催された東京オリンピック2020の幕が閉じました。日本は過去最多の27個の金メダルを獲得しました。

新しい競技や従来からある競技の中で血の滲むような訓練を経て、世界のアスリートと競い合って得た輝かしい栄光だと思います。

一方で、平和の祭典であるオリンピックとは思いますが、無観客での実施にも関わらず感染者は増加の一途をたどっており、経済や医療への多くの負荷だけが残ったような気分にもなります。

そのような中で、会員制交流サイト(SNS)を利用した選手への誹謗中傷などが数多く起こっていました。技術革新によりネットがより早く、より安く提供できることで、このようなサイトも拡大傾向にあると思いますが、使うためのルールを明確に定め、きちんと守らないといけないと思います。

私自身の利用法は、SNSは主に閲覧だけで投稿することはほぼありません。ですが、今回のオリンピックに参加した選手への投稿記事には「選手自身のこと」「試合内容のこと」など、その他さまざまな観点からの投稿もあったそうです。

ネットは世界中のあらゆる国・人が繋がっていることから、国内での法規制だけでは迅速に対応することは難しいかもしれません。ネットの使い方として「情報の共有」の手立てとして、有効的に利用することで有益性が増すことは、誰もが望むところです。ただし、問題点として不満のはけ口を匿名で出すといった卑怯な方法での投稿に苦しめられている人々が大勢いるということを、投稿者を始め皆さん方にも意識して欲しいと思います。

ところで、社会の発展に伴いSNSを介した犯罪も巧妙化しており、未成年者が犯罪に加担したり、危険な薬物使用のきっかけとなりえる誤った情報、その他巧みな勧誘にだまされて、性被害や闇バイトに繋がる悪質なケースが増えているそうです。このような被害を防止するには、子どもを持つ親のネットに対する意識の向上が欠かせないと思います。

今後ますますネット利用がどんどん進んでいくことでしょう。SNSと上手に付き合いながら便利な社会にしていくのは、利用者全ての責任であると思います。皆さんはどう思いますか？

(熊本市ふれあい文化センター広報紙「かけはし」十月号より)



会えない分だけ 祖父と話す長電話
「またおいで。」笑顔で会える日 待ち遠しい

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会のカレンダー 秋津小学校 6年 天本 圭祐さんの作品より